



師範  
岡由香里

師範  
福沢由美子

師範正  
田染健一

師範正  
川久保由香里

成家  
江川悦子

成家  
秋永春霞



1級  
田原綾泉

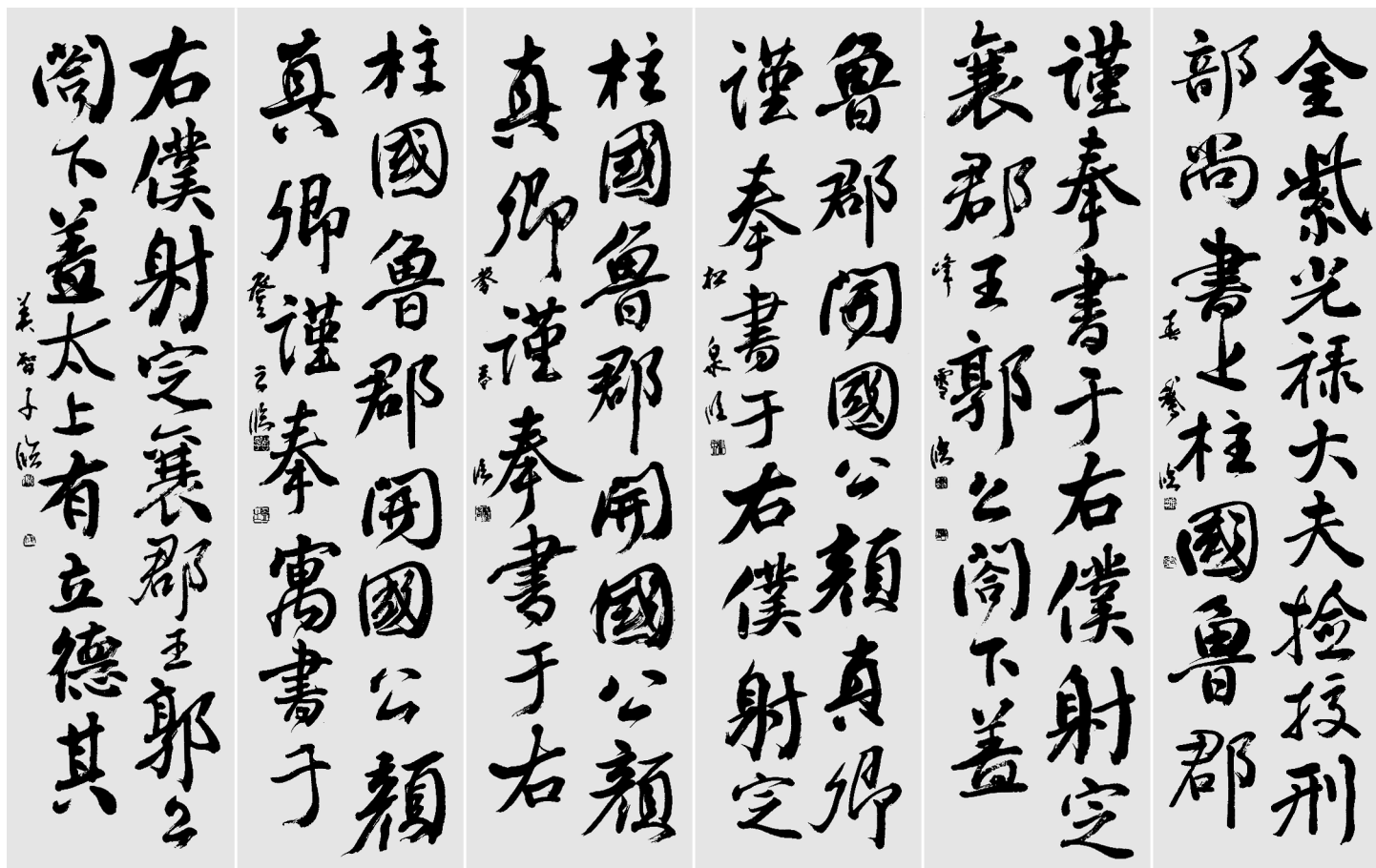
準二段  
川野藍秀

三段  
飯塚敏子

準師範  
牟田悦子

六段  
樋田佳代子

師範  
福澤真蘭



師範  
水津美智子

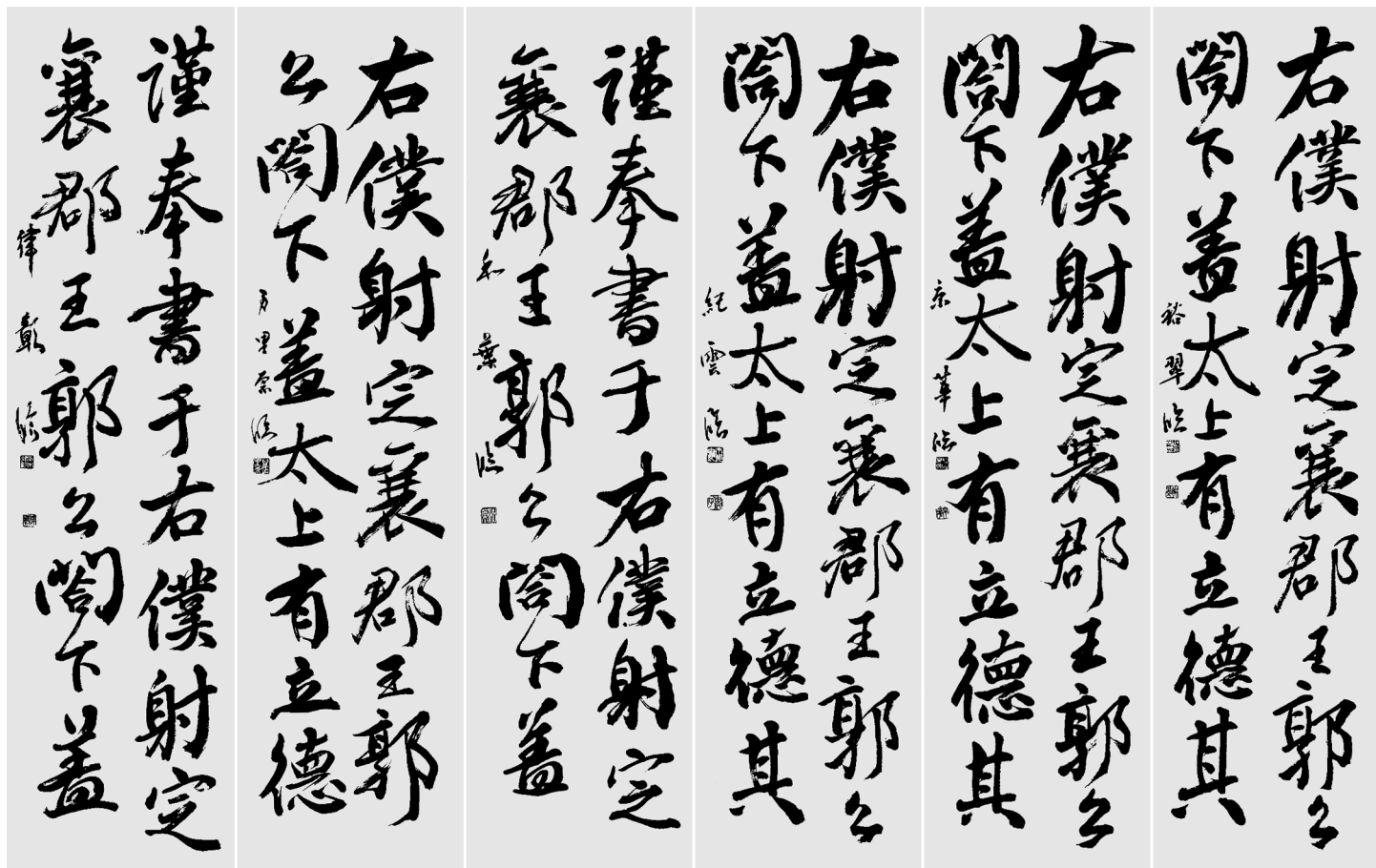
師範  
山田登之

師範  
佐田馨春

師範正  
大平松泉

成家  
堺峰雪

成家  
白水春鷺



二段  
佐々木律彰

準四段  
小森万里奈

四段  
尾崎和葉

準五段  
木村紀雲

準五段  
松山京華

五段  
辻裕翠

秋風のこころ細きは又も又

荒井由実の詞 眞理

師範正  
鳥飼眞理

海の聲の聲又も碧瑠璃  
の天に沈みて秋照る日なり

牧水のうた 花徑

師範正  
登本花徑

秋風のこころ細きは又も又

荒井由実の詞 虹鶴

師範正  
宮本虹鶴

秋風のこころ細きは又も又

荒井由実の詞 和子

成家  
川上和子

月の夜の薄翹かげふふ  
白芥子の空に舞へよ

白芥子の空に舞へよ 七代

成家  
伊良子喜代

月の夜の薄翹かげふふ  
白芥子の空に舞へよ

白芥子の空に舞へよ 春霞

成家  
秋永春霞

天幕の破れ目から見ゆる  
砂漠の空の星駱駝の鈴の音あす

真実の詞 由耶

準4級  
下世亜耶

海の聲の聲又も碧瑠璃  
の天に沈みて秋照る日なり

牧水のうた 眞梨子

準三段  
江口眞梨子

月の夜の薄翹かげふふ  
白芥子の空に舞へよ

白芥子の空に舞へよ 香華

師範  
三好香華

海の聲の聲又も碧瑠璃  
の天に沈みて秋照る日なり

牧水のうた 陽華

師範  
志岐陽華

秋風のこころ細きは又も又

由実の詞 純光

師範  
鹿毛純光

海の聲の聲又も碧瑠璃  
の天に沈みて秋照る日なり

牧水のうた 雪蘭

師範  
大谷雪蘭





師範大津白鷗



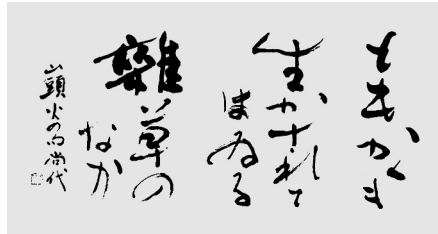
師範正白石青桃



成家下川沙舟



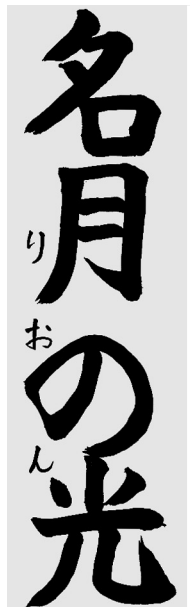
6級森田美峰



三段渡尚代



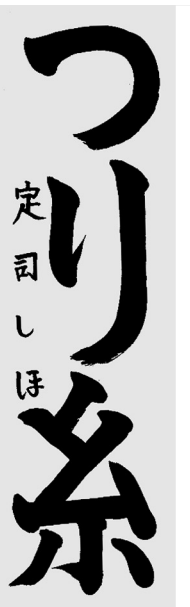
準五段原田清雪



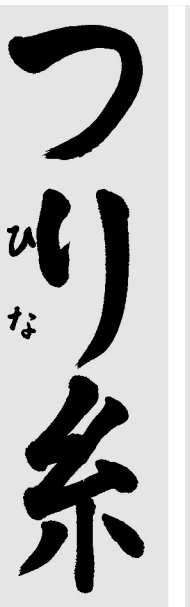
小4.準3級  
松江俐音



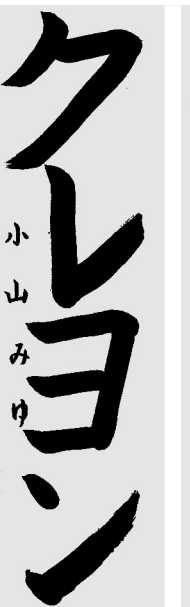
小4.準初段  
松尾かおる



小3.準四段  
定司志穂



小3.二段  
さかいひな



小2.準三段  
小山心優



小2.準2級  
円田海翔



小1.準6級  
うめ田さわ



中1.三段  
鹿田万結



中2.準四段  
金松溜依



中1.準特待生  
福原彩花



小6.六段  
白井萌



小6.二段  
竹内優



小5.準三段  
永田葉菜



小5.準三段  
田中謙多



半紙規定優秀作品

(10月末日締切分)



師範 福沢由美子

師範正 植田直美

師範正 長末華翠

師範正 原口梅香

成家 下川沙舟

成家 阪井浩子

成家 深町鳳月



師範 大門福枝

師範 青木緑

師範 藤永瑠雲

師範 古瀬白梢

師範 矢野涼湖

師範 亀井桂茜

師範 平田春蓉



五段 大瀬百合恵

準六段 芦刈海華

準六段 松永美貂

準六段 小川玉燐

六段 関岡多津

六段 諸山彩雲

準師範 木場迫清扇



三段 田中葵

三段 倉光純子

準四段 池田恵泉

四段 内田華陽

準五段 及川勝香

準五段 廣田清錦

五段 毛利照子



2級 石松美佑貴

準1級 広瀬理求

1級 蒔田智恵

準二段 川野藍秀

二段 古瀬玉彩

準三段 松浦高江

準三段 志摩洋子



8級 川鍋敬子

7級 久保早百合

準6級 坪根悦子

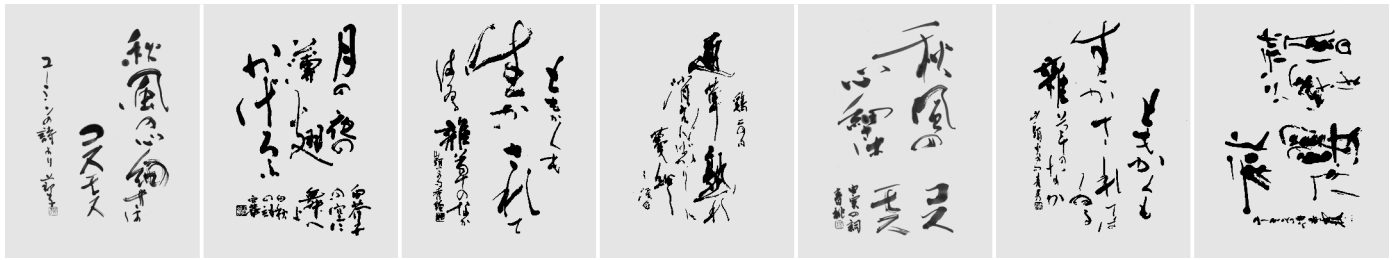
5級 有光静雲

準3級 矢治光子

3級 大賀昌子

準2級 鎌田喜久雄

半紙随意优秀作品 (10月末日締切分)



師範正  
村石 節子

師範正  
田尻 白華

師範正  
森崎 秀鈴

師範正  
黒岩 三溪

師範正  
白石 青桃

成家  
細田 青秀

成家  
秋永 春霞



六段  
松本 修治

準師範  
鎌田 敬子

準師範  
牟田 悦子

準師範  
溜 鴛舟

師範  
久保 象雲

師範  
鹿毛 純光

師範正  
藤元 山翠



準四段  
鈴木 鶴聲

四段  
尾崎 和葉

準五段  
田中 禮子

準五段  
鶴田 紅霞

五段  
勝木 信子

六段  
櫻井 敏子

六段  
西久保 峰雪



準1級  
原 洋美

1級  
上野 順子

準初段  
柿内 桜風

初段  
松下 真子

準二段  
安部 伴

二段  
松崎 雅子

準三段  
奥村 直美



5級  
小野 美和

準4級  
井上 修志

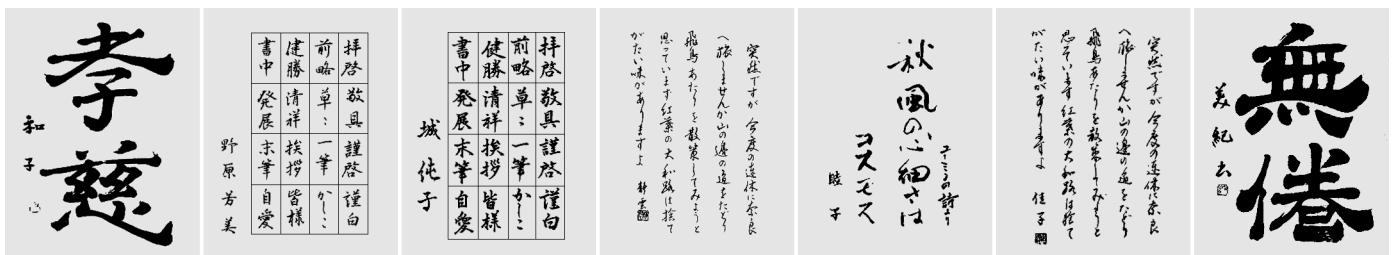
4級  
道方 祐美

準3級  
坂本 誠

3級  
西村 朋華

準2級  
堀田 美夏

2級  
石橋 文



準8級  
川上 和子

8級  
野原 芳美

準7級  
城 純子

7級  
有光 静雲

準6級  
日野 睦子

6級  
三浦 佳子

準5級  
日吉 美紀

半紙随意(臨書)優秀作品 (10月末日締切分)



師範 塚本 彩虹  
師範正 宮本 虹鶴  
師範正 藤 秀月  
師範正 野中 静波  
師範正 椎野 北斗  
成家 江川 悦子  
成家 大島 溪月



準師範 森 小筑  
師範 永谷 瑤春  
師範 稲垣 真弓  
師範 谷山 照軒  
師範 岡 由香里  
師範 由留部 裕美子  
師範 矢野 純子



準五段 前川 恒代  
五段 住田 紫苑  
五段 徳 朱鳥  
準六段 飯田 須磨  
六段 樋田 佳代子  
六段 毛利 奈津子  
準師範 伊良子 真紀



準三段 岩永 みゆき  
準三段 鹿子生紀世美  
三段 飯塚 敏子  
準四段 小森 万里奈  
準四段 竹本 航  
四段 田中 久美  
準五段 松山 京華



準2級 野崎 麗那  
2級 平岡 美保子  
準1級 今本 小百合  
1級 田原 綾泉  
準初段 濱地 園代  
準二段 鈴木 華鈴  
二段 佐々木 律彰



準7級 梅原 栄理  
7級 金子 志津子  
準6級 福本 真理子  
準4級 田中 美代子  
4級 阿部 花霞  
準3級 西村 二三子  
3級 長嶺 紘子



半紙優秀作品 (10月末日締切分)



準8級 宮川 遥      準8級 三浦 きく      8級 時津 桜      準7級 井上 空      準7級 岩本 かな子      準7級 ちやえんりりな      7級 松脇 心暖



準8級 祁答院そうし      8級 西森 大地      準7級 真島 なつみ      準6級 米田 吏杏      6級 山口 海里      準3級 池畑 雅      準2級 尾田 舞



4級 阿部 友梨花      準3級 吉村 太希      3級 重松 りよ      準2級 平林 凜真      2級 春口 紗來      準1級 江打 麻桜      準初段 徳永 亮太



準8級 難波 来未      準7級 野元 琉矢      準6級 松尾 昊亮      準6級 持田 憧      6級 藤木 みう      準5級 織田 恭樺      5級 香原 愛之祐



5級 佐藤 菜々夏      4級 秦 悠貴      準3級 小田原 奈津美      3級 山田 真央      準2級 前田 乃亜      準1級 向井 快羽      準三段 柴田 真菜



準8級 財津 愛那      準8級 柴田 結希      8級 野坂 心優      準7級 池口 釉      7級 馬場 美来乃      6級 海老谷 湊      準5級 成富 陽菜

半紙優秀作品 (10月末日締切分)



準二段 山本乃暖    二段 大石聖菜    三段 川村仁美    準四段 谷口向日葵    四段 瀬戸雄太    準五段 津村咲貴子    準六段 伊賀良奈緒



8級 實松侑太    6級 小山紗音    準四級 伊達和    4級 入江真奈美    2級 崎村悠愛    準1級 中根楓果    準初段 進藤紗英



準四段 服部怜奈    準四段 城嶋香    四段 鈴木堇    準五段 松田亜由美    五段 佐藤千夏    準六段 末兼明日香    六段 奥本遥花



準四級 芥田千夏    3級 垣内栄斗    準1級 大塚藍未    準初段 林元婷    二段 秋山菜里    準三段 山田このか    三段 田島里奈

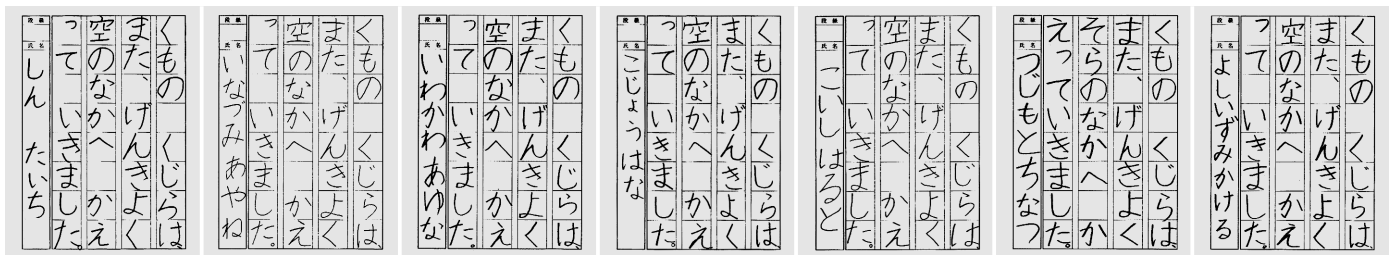


3級 高全直海    準二段 藤村楓    二段 山口舞桜    準三段 馬場絢子    準四段 難波さなり    四段 柿元彩葵    準五段 中家万琳乃

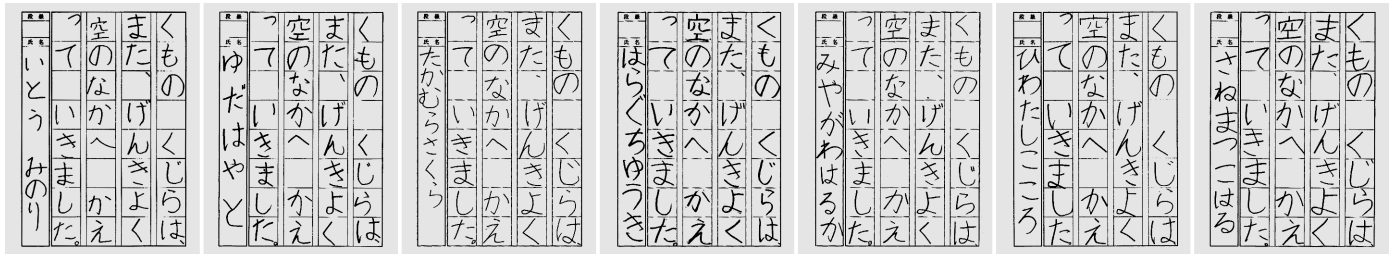


準四段 宮本航輝    準五段 佐藤ひかり    五段 原田口悠衣    準六段 山本夏恋    六段 藤本しほり    準特待生 井上拓巳    準特待生 井上向日葵

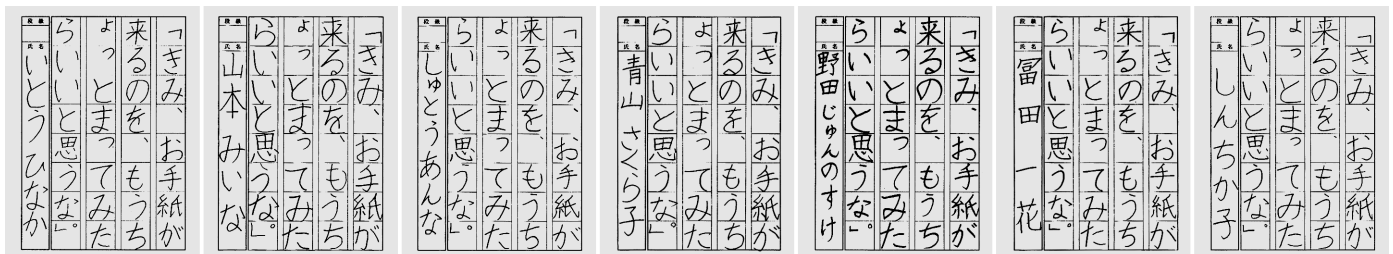
# 硬筆優秀作品 (10月末日締切分)



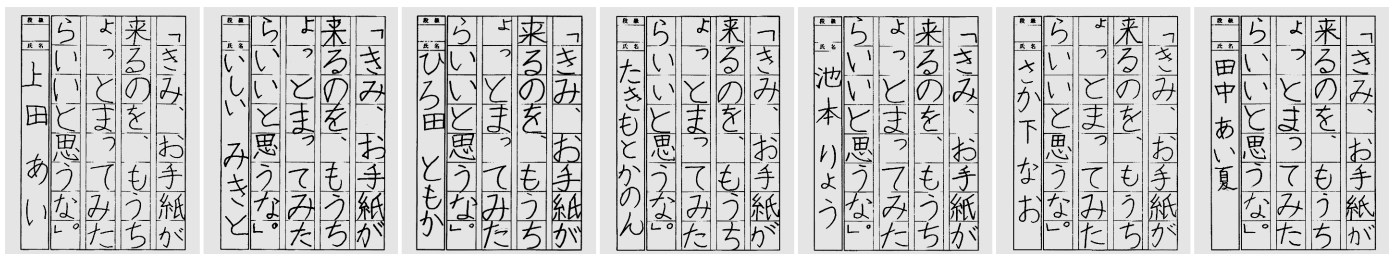
準7級 秦 大知      準7級 いなづみあやね      準7級 いわかわあゆな      7級 小 城 花 奈      準6級 小 石 大 翔      6級 つじもとちなつ      5級 よしいずみかける



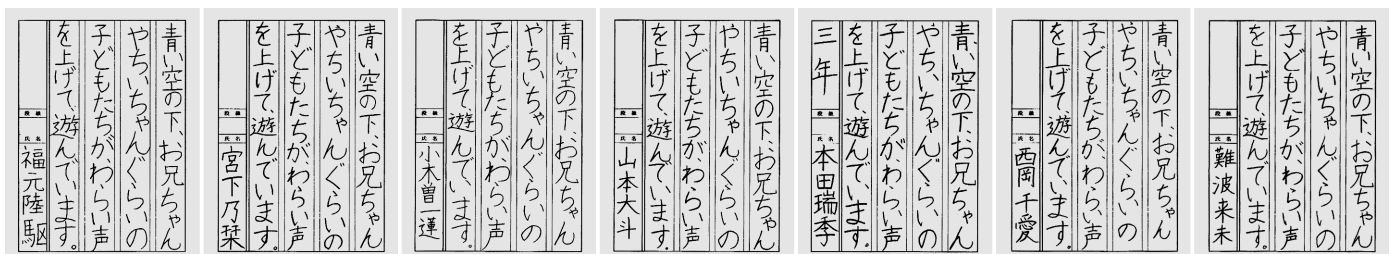
準8級 伊 藤 美 乃 莉      準8級 湯 田 は や と      準8級 高 村 さ く ら      8級 原 口 祐 貴      8級 宮 川 遥      8級 樋 渡 こ ろ ろ      準7級 實 松 こ は る



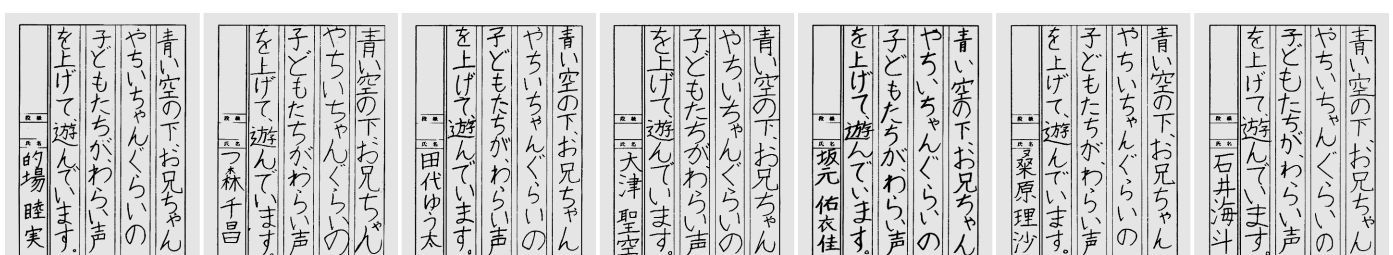
準5級 伊 藤 ひ な 華      準5級 山 本 美 衣 奈      5級 首 藤 杏 奈      5級 青 山 桜 子      準4級 野 田 純 之 介      準3級 富 田 一 花      3級 進 ち か こ



準8級 上 田 あ い      準8級 石 井 幹 人      7級 廣 田 友 香      7級 滝 本 花 音      7級 池 本 り よ う      準6級 坂 下 な お      6級 田 中 愛 夏



準2級 福 元 陸 駆      2級 宮 下 乃 葉      2級 小 木 曾 一 蓮      1級 山 本 大 斗      準初段 本 田 瑞 季      初 段 西 岡 千 愛      準二段 難 波 来 未



8級 的 場 睦 実      6級 津 森 千 昌      準5級 田 代 祐 太      準4級 大 津 聖 空      4級 坂 元 佑 衣 佳      準3級 桑 原 理 沙      3級 石 井 海 斗



# 硬筆優秀作品 (10月末日締切分)

うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。岩本 菜乃	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。松江 俐音	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。大地 美有	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。森川 優空	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。長嶺 紗子	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。松尾 かおる	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。河野 風紗
--	--	--	--	--	---	--

準3級 岩本 菜乃      3級 松江 俐音      準2級 大地 美有      2級 森川 優空      準1級 長嶺 紗子      1級 松尾 かおる      三段 河野 風紗

うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。池口 釉	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。渡辺 萌	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。西村 香美	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。寺島 未徠	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。藤原 風花	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。高橋 朱咲	うらら口からのぞくと、兵十は、 是、飯、を、食、べ、か、け、て、茶、 わ、ん、を、持、つ、た、ま、ま、ぼ、ん、や、 り、と、考、え、こ、ん、で、い、ま、し、た、 。。。。後藤 結
---	---	--	--	--	--	---

8級 池口 釉      準6級 渡辺 萌      6級 西村 香美      準5級 寺島 未徠      5級 藤原 風花      準4級 高橋 朱咲      4級 後藤 結

漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。崎村 悠愛	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。三浦 絢音	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。是木 咲良	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。小柳 文乃	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。高安 美羽	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。吉武 由偉	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。柳 侑伽
--	--	--	--	--	--	---

準二段 崎村 悠愛      二段 三浦 絢音      三段 是木 咲良      準四段 小柳 文乃      四段 高安 美羽      準五段 吉武 由偉      五段 柳 侑伽

漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。波田野 椋太	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。川 添 空	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。待鳥 奏睦	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。橋山 沙叶	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。村山 花恋	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。永田 葉菜	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので す。わたしたちの祖先は古く から中国と交流し、漢詩など の文化にも親しんできました。 。。。。峯野 真菜海
---	--	--	--	--	--	---

6級 波田野 椋太      5級 川 添 空      2級 待鳥 奏睦      準1級 橋山 沙叶      1級 村山 花恋      準初段 永田 葉菜      初段 峯野 真菜海

シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。水崎 莉奈	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。上井 彩音	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。新開 香織	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。服部 怜奈	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。山口 茉優	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。菅原 捺美	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。松平 紗和
--	--	--	--	--	--	--

三段 水崎 莉奈      準四段 上井 彩音      四段 新開 香織      四段 服部 怜奈      準五段 山口 茉優      五段 菅原 捺美      準六段 松平 紗和

シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。的場 麗太郎	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。風 優輝	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。菅原 絢子	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。永留 万貴	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。竹内 優	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。濱田 はるか	シロアリの巣を作っている土に は目に見えないほどの小さな穴 が無数に空いていて、この穴が 呼吸するようにして、度を調節 していることが分かります。 。。。。古賀 遥奈
---	---	--	--	---	---	--

2級 的場 麗太郎      準初段 風 優輝      初段 菅原 絢子      準二段 永留 万貴      二段 竹内 優      準三段 濱田 はるか      準三段 古賀 遥奈

# 硬筆優秀作品 (10月末日締切分)

だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 北村友佳	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 木牟禮佳乃	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 柳 ひかる	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 小林 真弓	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 和田愛里	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 中根希紗	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 松尾怜旺
--	---	---	---	--	--	--

五段 北村友佳    五段 木牟禮佳乃    準六段 柳 ひかる    六段 小林 真弓    準特待生 和田愛里    準特待生 中根希紗    特待生 松尾怜旺

だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 川添茉玲	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 櫻木香奈絵	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 神庭 さわ	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 横山 佳奈	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 武田千洸	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 福島 怜奈	だれもが会話を話し合いに参加できるよつにするためにまた大切な情報を間違なく伝えられるよつにするために安易な外来語の使用はなくしていくべきだ。 小西雄一郎
--	---	---	---	--	---	---

2級 川添茉玲    準二段 櫻木香奈絵    準三段 神庭 さわ    三段 横山 佳奈    準四段 武田千洸    四段 福島 怜奈    準五段 小西雄一郎

劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 山口寛子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 伊良子真紀	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 小村佳将	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 平田寛子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 藤 久美子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 井上真翠	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 池田淳子
--	---	--	--	---	--	--

五段 山口寛子    準六段 伊良子真紀    六段 小村佳将    準師範 平田寛子    師範 藤 久美子    師範 井上真翠    師範正 池田淳子

劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 相良佳代	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 小島繁子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 熊谷真壽子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 重山涼子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 平田理恵	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 荒木純華	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 牟田悦子
--	--	---	--	--	--	--

初段 相良佳代    二段 小島繁子    準三段 熊谷真壽子    準三段 重山涼子    三段 平田理恵    準四段 荒木純華    準五段 牟田悦子

劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 齋藤一二美	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 西村朋華	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 久谷章江	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 溝上瑛玲奈	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 森 ヒサ子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 佐藤加奈	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 定司紀子
---	--	--	---	---	--	--

準4級 齋藤一二美    準3級 西村朋華    3級 久谷章江    準2級 溝上瑛玲奈    2級 森 ヒサ子    準1級 佐藤加奈    準初段 定司紀子

劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 山口まゆみ	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 西村二三子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 黒田敦子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 吉村佐登子	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 松本桃舟	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 円田琴枝	劉邦の軍勢に迫られ城下の詩といふ有名詞世を詠んだのは項羽その寵姫虞美人は、の直後に自決し無が満たの上の吐いた花を後に虞美人草と呼んだと伝説はなされてる。 廣畑真由美
---	---	--	---	--	--	---

8級 山口まゆみ    準7級 西村二三子    7級 黒田敦子    準6級 吉村佐登子    6級 松本桃舟    準5級 円田琴枝    5級 廣畑真由美